

<教育利用> ④進路指導での活用（志望動機文の作成による面談指導の強化）

着目した課題

初めて就職活動をする生徒は、200文字程度の志望動機文作成の書き初めに時間がかかる。そのため、職業人として求められることなど、深く指導する時間が取れなかった。企業研究が乏しく、後の面談で教員と一から内容変更することがある。教員の経験差による指導の偏りがある。

活用事例

- ①事前に、受験企業名、生徒の状況や特長を生成AIに入力し、志望動機文3パターンを作成。
- ②面談で志望動機文3パターンを提示し、一部内容の間違えを伝える。メインとする文章を選ばせ、自身の特徴や言い回しの変更を促す。
- ③完成した志望動機文を面接指導で深く質問することで、企業研究をする具体的な点を伝えることや自身のことをさらに深く考えさせる。

生成AIへのプロンプト

私は、就職活動をしています。今度、●●造船を受験します。その志望動機案を3つ考えて欲しい。条件は、200字以内。私は、高校生です。私は、溶接することが好きです。私は、工業高校に通っています。野球部の先輩が●●造船にいます。受験企業は貴社で表現して欲しい。

工夫点：生徒情報も含めてプロンプトを詳しく入力する。

生成AIが作成した文章

1. 私は高校で溶接の技術を学び、モノづくりに興味を持ちました。●●造船は船舶だけでなく、環境やインフラなどの幅広い分野で高い技術力を発揮しています。貴社で働くことで、自分の技術をさらに磨き、社会に貢献したいと思います。
2. 私は野球部の先輩から●●造船のことを聞き、興味を持ちました。先輩は貴社で働きながら、社内の野球チームにも所属しています。貴社は仕事だけでなく、社員の趣味や健康も大切にしていると感じました。私も仕事とプライベートのバランスを取りながら、貴社で活躍したいと思います。
3. 私は子どものころから船が好きで、よく港に行っては船を眺めていました。●●造船は世界に誇れる船舶を製造しており、その品質やデザインに感動しました。貴社で働くことで、自分の夢であった船づくりに携わりたいと思います。

現在、この企業は造船はしておらず、海上構造物や大型機械の製造をしています。

【3つの例文を見た生徒にの声】

- 志望動機を書く、きっかけが難しかったので、例を示してくれるのは助かる。
- 会社内容に誤りがあり使えないところがある。職場見学や情報収集は必須。
- 文を作るのは時間が短縮できれば、苦手な面接練習がたくさんできたと思う。
- 文章に違和感があり手直したい。3つの良いところをつなぎ合わせたい。
- 一から考え出した文章ではないので、本番で忘れてしまえば、一言も思い出せないかもしれないと感じた。

教員の感想

- 教員は、これまでの過去文や文例集の作成をしていた。生成AIの利用で『書き始めの支援』が容易にでき、準備時間が大幅に削減できる可能性を感じた。
- 生成文に、真偽も含め違和感を感じたため、自発的に加筆修正し、自分好みや実態に合った文章を、思考して、つくる気持ちの手助けになりえる。
- 生成AIの活用で個別の例文作成が容易なので、面談指導で業務内容と生徒の強みを結び付ける助言などができ、個人に合わせた指導ができやすく感じる。また、時間の猶予ができ職業人に求められることなど形式的でない、深い指導につながると感じた。
- 教員の指導経験により指導の偏りがあるので、教員の指導力を向上のきっかけになる。
- ただし、教員を介さず生徒が直接生成AIを使うと、それ頼みになる可能性は否めない。教員のガイダンスや利用リテラシーを教えることがセットで使うことが必要になると感じた。